

新春号

議会から こんにちは

2021

1.1

令和3年



笹川むもん氏作

 さの
市議会だより

■特集
年頭の決意

—市議会議員、今年の抱負を語る—

年頭の決意

① 所属会派

② 住所

③ 自宅電話番号

④ 今年の抱負



議長

春山 敏明

① 新風

② 赤坂町6514

③ (24)0374

④ 昨年は、台風の動きが気になった一年。教科書で習った「偏西風により東へ」ではなく、西へ向かう気象変動に驚く。同じく、大航海時代に宣教師が信長について書いた新史料が発見され、鉄砲を求める信長と宣教師側の新事実に吃驚仰天。コロナ拡大によって工業生産体制のサプライチェーンの問題やデジタル技術活用の遅れを改めて認識。一日も早い終息を願いピンチをチャンスに「新しい生活様式」が良きものとなるように活動します。



副議長

小暮 博志

① 政友みらい

② 馬門町1597

③ (23)8263

④ 今年も、コロナ禍で健康と経済の不安に悩まされるのではないかと心配です。

この様な中で幸せに生きて行くのは、目標に向かっての努力・学習、挑戦、感謝の気持ちがあるためとの事であります。そのような状態の人は、創造性が約3倍、生産性が約1.3倍に増えるとの事です。皆でそうなると、年末には、きっと良い年になるものと思いません。私も、前向きに努力して行きます。



慶野 常夫

① 政友みらい

② 下羽田町 1025

③ (23) 8662

④ コロナ禍の第二・第三波が各地で発生して収束の見通しが立たない中で、市民の皆様におかれましては、不自由な生活と不安な日々が続いていることと存じます。生活において政府が提唱する「新しい生活様式」といった基本を守りながら、皆様は安心して子育てができる環境と、高齢者が住み慣れた地域で、安全・安心に暮らせるまち「笑顔あふれる佐野市」を目指し全力で取り組んでまいります。



川嶋 嘉一

① 政友みらい

② 関川町 906129

③ (24) 6578

④ 新型コロナウイルスの感染者数が多い本市。今後とも、感染拡大を最小限に抑えらるとともに、経済の復興に向けて、市民の皆様と協働で取り組まなくてはならないと考えます。

また、地球温暖化が原因とされる異常気象による自然災害から、市民を守る「安全・安心」なまちづくりに取り組んでまいります。

併せて私のライフワークである教育問題、つまり教育環境の充実と明日を担う子どもたちや人材の育成に務めてまいります。



菅原 達

① 公明党議員会

② 堀米町 11015

③ (21) 5603

④ 国内外で頻発する自然災害も、新型コロナウイルス感染症も、地球温暖化の影響に関係すると言われております。この温暖化に対する緩和と適応の取り組みを推進する中で、特に水害からの復興を目指した河川の整備を推進すると共に、流域全体で対策を講じる流域治水も推進してまいります。さらに、地区防災計画や要支援者の避難計画の策定を推進し、ソフト面での対策も含め気候変動に適応できる安心・安全な佐野市を築いてまいります。



木村 久雄

① 公明党議員会

② 閑馬町 1001

③ (65) 1729

④ コロナ禍の中で、災害復旧工事等が進められています。更なる安心・安全な生活環境の整備や保育・教育環境の充実・変革等の必要性が高まっているように感じます。また、人口減少や少子高齢化の影響による医療・福祉の充実等も課題であります。私は、今後も市民生活の向上のために、皆様お一人お一人の「声」を市政にお届けし、佐野市の良き次代を築くために、全力で直面する喫緊の課題に取り組んでまいります。



横井 帝之

① 新風

② 浅沼町 831-1

③ (21) 2842

④ 本市は、一昨年の東日本台風の復興道半ばで、新型コロナウイルスの影響で経済に大きなダメージを負いました。いつ収束するかわからない新型コロナウイルスの対策強化と経済支援、その中で子どもたちが未来に希望をもてる環境作りを進めてまいります。経済が苦しいときは、立場の弱い人にし寄せがきまず。そのようなことが起きないよう、幅広くご意見を聞き対策を講じてまいります。



早川 貴光

① 会派に属さない議員

② 天神町 720

③ (23) 3911

④ 東日本台風の復旧復興が着実に進む中、本市においても昨年から続く新型コロナウイルス感染症により様々な分野に多大な影響を受け続けています。本年は特に佐野市で出来る独自の感染症対策や、経済の立て直しはもとより、教育・子育て・医療・介護・福祉等の分野に対してコロナ禍が及ぼす影響を低減させる取り組みを積極的に行い、安心して安全なまちづくりに努め、持続可能な地域社会の構築をしてまいります。



小倉 健一

① 会派に属さない議員

② 出流原町 2 1 2 0

③ (25) 0 4 1 0

④ 新型コロナウイルスに罹患された方々には謹んでお見舞い申し上げます。また、最前線におられる、医療、介護、保育等従事者の皆様に心より敬意を表します。災害、コロナと続き財政も厳しさを増しています。「今、何が必要なのか」市民の生命を第一に考え、各事業の方向性も定めていかねばなりません。加速するオンラインやネット使用の中も実情を一つ一つ捉え、皆様の安心安全の一年となりますように真摯に努めてまいります。



金子 保利

① 会派に属さない議員

② 高萩町 1 2 0 6 1 6

③ (22) 2 2 3 9

④ 新型コロナウイルスの感染症の終息が見られない状況の中で、待望の95%有効性のあるワクチンを欧米の製薬会社が開発し、英国で承認されました。政府は、安全で有効なワクチンを早期に供給することを目指しており、ワクチンの接種については、全額国が負担するとしております。皆さんの生命を守るため安全な予防接種体制が整えられること、一日も早く元の日常生活に戻れるよう努めてまいります。



亀山 春夫

① 政友みらい

② 船越町 1 7 1 8 1 1

③ (62) 3 2 6 2

④ 東日本台風による災害復旧事業も現在のところは復旧途上にあり、まだまだ不便な思いをされているかとは思いますが、行政当局との連携・協力により、一日も早い復旧を推進してまいります。更にはコロナウイルス第三波の拡大の中で日常生活の有りようが厳しく問われております。三密をさげ、私たちに来る手洗いマスクの着用など基本の遵守などにより、皆様方と共に安心・安全な生活が送れるよう諸施策を実行してまいります。



本郷 淳一

① 公明党議員会

② 大橋町 3 1 7 3 1 5

③ (23) 2 1 0 0

④ 今年も令和元年東日本台風の復旧・復興と新型コロナウイルス感染症防止対策のさらなる推進が極めて重要であります。また、本市の将来に向け、発展への歩みを止めるわけにはまいりませぬ。特に国道50号沿線の開発や本市特有の資源を活かした都市ブランド化の推進を目指してまいります。そのためには、私の信条であります医療・福祉の充実、活力あるまちづくりの推進、安全・安心のまちづくりの実現に全力で取り組んでまいります。



若田部 治彦

① 公明党議員会

② 奈良渕町 6 7 0

③ (21) 2 8 5 1

④ 近年、全国で地震や豪雨による地滑り、水害などの被害が発生しており、佐野市も例外ではありません。これまでの復興を含め、新たな対策が求められております。二度と悲惨な被害を受けたくない安全なまちづくりを目指します。また、世界を脅かしている新型コロナウイルス感染症の対策は、ワクチンや治療薬の開発が確立されておりません。生活していく中で、経済的支援や精神的支援等さまざまな配慮が必要と考えます。新たなまちづくりを行ってまいります。



横田 誠

① 新風

② 栃本町 2 3 3 1 1 3

③ (62) 1 0 8 6

④ これからは自然災害、コロナウイルス感染症等を要因とした税収の減少を前提に、少子高齢社会が必要とする多様な市民ニーズに対応する自治体経営が求められています。しかし、行政があらゆる公共サービスを提供することに限界があり、以前より最適な財政運営が必要です。そこで持続可能な財政運営を目指す。税外収入の確保や民間活力の活用等をはじめとした諸課題解決に積極的取り組みます。



田所 良夫

①新風

②赤見町 3 2 5 6

③(25) 0 2 3 3

④近年、地球温暖化による気象変動、令和元年東日本台風による災害そして新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けて本市においても大きな時代の転換期を迎えていようと感じます。最優先は市民一人一人の安全安心希望の持てる社会であると考えます。ゆえに、雇用の創出、働く場の確保、安定した所得の見通し、消費の拡大が重要と考えます。本市のリーディングプロジェクトの一翼である産業立市の推進に努めてまいります。



久保 貴洋

①蒼生会

②閑馬町 1 6 6 9

③(65) 0 3 1 0

④近年、各地で発生している大規模災害や新型コロナウイルス感染症の拡大により不安な日々が続いている状況です。このようなか、市議会が提案・提言を行うとともに、行政との連携を更に強化する必要があると考えます。市民の皆様の声を大切に受け止め、更なる市民サービスの向上を目指し、議員活動に努めてまいります。
「佐野市の将来は今この瞬間、ここにある。今ここで頑張らずにいつ頑張る」新たな出発点の年にしていく決意です。



鈴木 靖宏

①蒼生会

②越名町 3 1 3

③(87) 4 1 1 5

④新型コロナウイルス感染症が拡大し猛威を振るう現在、新しい生活様式が定着しつつあります。しかし、「人」が今まで培ってきた道徳心や忠誠心は変化してはいけません。
苦しい時や困難な時こそ「人と人が支え合う」ことが大切です。議員活動も汗をかき知恵を出す時と考えます。今やらずしていつできるのでしょうか？
「新しい時代」を捉えて、多様性に適応し皆様のご意見やご提案に「ジャストミート」出来る議員活動を推進致します。



岡村 恵子

① 日本共産党議員団

② 富岡町 1 3 8 1 2

③ (24) 2 7 3 8

④ 昨年は台風被害や新型コロナウイルス感染症の広がりなど苦難の年でした。

そして、コロナ禍で先の見えない中、年明けとなりました。PCR検査の拡充、医療崩壊を防ぐための対策、雇用や事業者支援、少人数学級など、行政の打つ対策が求められます。人間はひとりでは生きていけず「公」の責任は重大です。税金は、市民のいのちと暮らしを守るために。今こそ国と地方が力を合わせ政治が大きな役割を果たす時です。



鶴見 義明

① 日本共産党議員団

② 会沢町 5 3 6 1 1

③ (85) 3 6 8 7

④ 令和元年は東日本台風で甚大な被害を受けました。さらに昨年は新型コロナウイルスで、営業自粛や失業、学校の長期休業などで市民のくらしは心身ともに大変疲弊しています。こういう時に行政は何をすべきか考えなければなりません。財政が厳しい状況であればしっかりと優先順位を考え、市民のくらし、生命、財産を守るための市政に転換しなければなりません。その為に全力で頑張ってください。



井川 克彦

① 政友みらい

② 植野町 2 1 3 8 1 1

③ (24) 2 8 4 0

④ 昨年度、佐野市は復興元年として秋山川改良工事が激甚災害対策特別緊急事業に採択されましたが進捗率はまだ二割と言うこと。さらに上流の中山間地では、橋が流され陸の孤島状態や沢から流れ出た石が畑を埋め尽くした状態のまま自助努力に頼らざるを得ない状況も続いています。さらにコロナ禍が追い討ちをかけ大きな社会変化が市民生活に影響を与え、飲食店が今までにない苦境に追い込まれています。この様な中、強く優しい行政の対応が求められます。



山菅 直己

① 政友みらい

② 葛生西 3-1-2-7

③ (85) 2645

④ 台風被害の復旧、復興、被災者支援を進め、安心、安全な住環境の整備を進めます。

終息の見えない新型コロナウイルス感染症の対応に大変な生活を強いられています。早々にワクチンの接種が受けられる事を願うと共に、体調の変化や異常を感じたら早急に検査を願います。

今年も人づくり・夢もてる街づくり・心の通い合える街づくりをモットーに市民の皆様と共に、安全で安心して暮せる街づくりを全力で取り組みます。



篠原 一世

① 政友みらい

② 下羽田町 1031-3

③ (22) 6017

④ 昨年は令和元年東日本台風災害の復旧・復興の年の始まりと、新型コロナウイルス感染症とで、本市が大きく揺れ動いた年でありました。本年もその延長線上にあります。今年でも人類は繰り返される試練に耐え打ち勝つてまいりました。今は少し立ち止まり、歩む道は多少違うかもしれないませんが、その先には新たな未来への道が拓けていると思

います。私達が慌てずゆっくりと、そして確実に、明日に向かって歩み続けることに期待します。



飯田 昌弘

① 蒼生会

② 堀米町 81-7

③ (22) 8523

④ 東日本台風による被災、新型コロナウイルスの全国的な蔓延と異常事態に対し、復興に努め感染症対策を最重要課題として取り組んでまいります。

皆様の満足度や幸福度を向上させ、次世代に誇りをもつて繋いでいく社会をつくるため、子育て環境の整備、高齢社会に対応する健康寿命の延伸、安心安全のインフラの整備、産業振興、移住・定住の推進を図り安心安全のまちづくりに全力投球致します。



高橋 功

① 蒼生会

② 仙波町 2845

③ (85) 3054

④ 市議会の役割は、行政のチェック機能と合わせ、政策提言や、情報の発信により市民の負託に応えることです。

令和元年東日本台風被害の復旧、復興を最優先に取り組んでまいりましたが、未だ道半ばです。今後も市民の生活再建に努めます。コロナ禍での市民生活は日常を一変させました。感染症対策を進めると共に、市民の皆様には自己防衛能力を高めて頂く事が肝要です。人口減少時代を見据えた、安全・安心のまちづくりを目指します。

議員の年賀状等
あいさつ状は
法律により禁止
されています



議員は、公職選挙法の規定により、選挙区内の方に年賀状等のあいさつ状（答礼のための自筆によるものを除きます）を出すことは禁止されています。

皆様のご理解をお願いいたします。

※表紙絵は笹川むもん氏の作品です。

笹川むもん(育也)氏のプロフィール

PROFILE

- 1954年 栃木県佐野市に生まれ（現住、富山県南砺市在住）
- 1972年 三代目加茂蕃山に師事（富山県南砺市井波）
- 1979年 日展初出品初入選 以後連続15回入選～'94まで出品
- 1984～86年 日彫展 奨励賞連続3回受賞
- 1986年 富山県美術展 県展大賞
- 1987年 日彫展 日彫賞
- 1993年 ポーランド石彫ワークショップ招待(グダニスク)
- 1997年 第26回現代日本美術展 佳作賞
マロニエ文化賞
- 1999年 第14回国民文化祭・ぎふ彫刻コンクール 文部大臣賞
- 2001年 木彫展とミクストメディア展(佐野市文化会館)
- 2002年 砺波市美術館 第5回至高の精神展「興廃風雅」
- 2003年 トリエンナーレ2003神通峡美術展 大賞
- 2006年 となみ野美術展2006 となみ野美術大賞
第45回アートナウKANAZAWA 中日大賞展グランプリ
- 2007年 全国木彫刻コンクール 国際木彫刻キャンプ賞
- 2010年 砺波市主催 笹川むもん彫刻展「MUMONISM！」
- 2013年 佐野市主催 笹川むもん彫刻展(佐野市未来館)
- 2017年 全国木彫刻コンクール 準大賞
東京国立博物館所蔵重文 エラスムス立像 複製制作
その他個展多数



佐野ブランドキャラクター さのまる

佐野市議会ホームページから ライブ中継や録画映像を配信しています。

※ 録画映像は、会議の翌日（土日・祝日を除く）からご覧いただけます。
（4年間保存）



リンク

[会議日程](#)

[議会中継・録画配信](#)

[一般質問通告書](#)

[会議録の検索と閲覧](#)

[議会だより](#)

[佐野市のホームページ](#)

クリック



編集後記

【編集委員会】
委員長 篠原一世
委員 川嶋嘉一
委員 菅原達
委員 久保貴洋
委員 亀山春夫

昨年本市においては、令和元年東日本台風での甚大な被害の対応として復旧・復興に取り組む中、世界中を震撼させた新型コロナウイルス感染症が、その脅威性から世界中に未曾有の危機をもたらしました。しかし、人類は繰り返される各危機に対して、試練に耐え、あるいは克服し現代に至っております。我々は英知を結集し、あらゆる困難に対し、減災、防災等を図り、未来永劫に渡る、希望あふれる佐野市、社会の実現に期待します。

（篠原記）